

Q 新しい仕組みはいつから使えるようになりますか？導入はどのように進めるのですか？

A パイロットテストを2026年の第1四半期に開始する予定です。その後、これらの施設において継続的かつ反復的なプロセスを通じて改良を重ねていきます。完全版分類体系の商用リリースは、2027年第1四半期末を予定しています。今回このように情報を発表するのは、まもなく開始するパイロットテストについて広くお知らせし、現在進行中の取り組みに対して早期にフィードバックをいただくためです。同時に、私たちはNANDA360分類のさらなる拡充と洗練を続けてまいります。リリース時には、デジタルライセンス保有者に対し、教育資料、導入支援ツール、包括的な技術文書および実装ガイドを提供する予定です。

Q 新たな分類で、目標と成果はどのように定義されていますか？

A 看護目標は、個人、家族、コミュニティの、達成可能で望ましい人間の反応であり、ケアプロセスの指針として設定される。看護目標は、臨床での意思決定を方向づけ、限られた期間内に焦点を当てて意図的に実施される看護行為の指針にもなる。さらに看護目標は、その人の進捗と治療プロセス全体を通して実施される行為の一貫性を評価する際の基準にもなる。目標は、現実的かつ個別性があり、その人の臨床状態や価値観と一致していなければならない。看護アウトカムは、設定された目標が達成されているかどうかの評価を可能にし、看護行為の有効性を示す指標になる。また、その人の進捗状況に応じて、ケアを継続、修正、再計画するかの判断の基礎として機能する。

Q これは既存のNANDA-I診断を置き換えるものですか、それとも統合される形ですか？

A 新しい枠組みは、既存のNANDA-I診断と連携・統合されることとなります。

Q NANDA-Iは、今後どのように他の団体や標準化機関と連携を続けていく予定ですか？

A NANDA-Iは、これまでと同様に、当分類が標準化団体や他の関係機関との整合性を保つよう継続的に取り組んでいきます。

Q 今回の変更は、どのような査読付き研究や専門家パネルの検討に基づいて行われたのですか？

A 特定の看護診断の文脈において、各関連因子に対応する看護行為について、最も高いGRADEエビデンスを提供する研究を特定するために、科学文献のターゲット検索を実施しました。情報源の多くはシステマティックレビューでしたが、より適用性が高い、またはより新しい研究デザイン（例：ランダム化比較試験、コホート研究、質的統合など）がある場合には、それらも採用しました。各看護行為のエビデンスレベルは、その行為を直接支持する研究の中で最も高いGRADE評価を示した研究に基づいて割り当てました。システマティックレビューおよびメタアナリシスを優先しましたが、ランダム化比較試験、準実験的研究、観察研究も含め、また文脈化が必要な場合には、メカニズム・受容性・実施可能性に関する洞察を提供する質的エビデンス統合も考慮に入れました。各関連因子については、当該因子（または明確に同等と見なされる構成概念）を、その診断の文脈の中で明示的に対象としている研究に限定して、看護行為を対応づけました。関連因子特異的なエビデンスによって裏づけられていない看護行為は、除外または格下げしました。

Q 今回の変更は、教育や電子カルテなど現場でNANDA-I診断を既に活用している機関にはどのような影響がありますか？

A 今回の変更により、各機関は看護過程全体をカバーする1つの分類体系を提供できるようになります。これは、教育をより容易にすることを意味します。つまり、3つの用語体系を統合した一貫性のある拡張分類を、1つのライセンス下で利用できるようにもなります。さらに、電子カルテを導入している機関では、看護師向けの臨床推論フレームワークに基づくコンピュータ支援型意思決定ツールを活用することもできるようになります。

Q NANDA 360 の詳しい説明は誰が担当する予定ですか？ どのようなサポートが提供されるのでしょうか？

A NANDA-Iは現在、多様な教育形態やトレーニング形態を取り入れた一連の教育プログラムを開発中です。このプログラムは、大学の教員、医療機関の教育担当者、臨床現場の看護師、研究や看護情報学の専門家を対象とし、教育支援とコンサルティングを提供するものです。教育内容をより分かりやすく伝えることを目的とした本プログラムの詳細は、今後順次お知らせします。

Q 統合された分類と統一用語集への移行を裏付けるエビデンスにはどのようなものがありますか？

A アセスメントデータと診断との間に体系的な関連づけがなされていないこと、また、診断・アウトカム・看護介入の間にエビデンスに基づく関連が不足していることは、統合された分類の必要性を示しています。

Q 新たな枠組みは欧州健康データイニシアチブに適合していますか？

A NANDA-I では現在、欧州健康データイニシアチブに準拠するために必要な要件を分析中です。

Q 新しいシステムは、多様な臨床現場や国々において、どのように一貫性を確保するのでしょうか？

A 看護師に明確なエビデンスレベルを示すリンクが提供できれば、臨床推論の支援につながります。また、分類全体が完全にコード化されることで、標準化された用語の提供だけでなく、それらの用語を活用して、患者のアウトカムや組織成果に看護師がどのような影響を与えているかを示す研究を行うことも可能になります。

Q 今回の変更で、SNOMED CTやICNPといった他の国際的な用語体系と比較して、NANDA-Iはどのような立ち位置になるのでしょうか？

A 新たな枠組みは、他の看護用語との整合性を維持しつつ、さらにその統合を強化することを目指しています。現在、SNOMED CTとNANDA-Iを結びつける参照セット（Refset）の開発が進められており、SNOMED加盟国はこれを活用して、自国のSNOMED対応電子カルテ内でNANDA-Iを活用できるようになります。この参照セットは、NANDA-IがHL7メッセージ規格やその他の規制基準との整合性を確保する上でも重要な役割を果たします。

Q NANDA 360 のアウトカムは、LOINCの観察項目（observations）との互換性または整合性を持つものになるのでしょうか？

A LOINCを使用している国では、NANDA360のアウトカムはLOINCの観察項目と対応しています。